

所管センター	実施形態	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	受入人数上限	上下	来日	終了日	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験年数	年齢	日本語能力	言語	①目標	②成果	③計画（内容）	備考
1	横浜	長期	継続NL1	教育	在日日系社会と外国人支援団体の取り組み	Nikkei society in Japan and activities of foreign support organization	2	上	2023/6/18	2024/3/19	特定非営利活動法人ABCジャパン	NPO ABC Japan	https://www.abcjapan.org/	渡辺 裕美子	WATANABE Yumiko (Ms.)	honbu@abcjapan.org	子どもが好きで社会活動に興味のある方。日本語教師や教員経験のある方、コンピューターに詳しい方が望ましい。	大学卒業程度	1	不問	N3	ポルトガル語(母語)	研修員が、在日日系社会と日本の多文化共生の現状を理解し、課題解決に向けた知見を得る。①	1. 多文化共生のまち鶴見に数多く暮らす日系人や様々な国から移住してきた家族が、どのような課題を抱えながら、社会において生活しているのかを地域での活動を通して肌で感じ理解する。 2. 公立小中学校やフリースクールに通う日系人子弟や外国につながる子どもたちが置ける言葉や文化の壁、あるいは学習の困難さなどを理解し、日本における移民への教育の現状について学ぶ。 3. 当団体のプログラムへの補助業務を行う中で、日本のNPOの法人の運営方法や経理、情報発信、イベント等の企画・実施のノウハウ、行政や他団体、学校等との連携の仕方などを学ぶ。 4. 地域の高校や大学、国際交流ラウンジ等で、多文化共生イベントや多文化教育プログラム等を共に企画・実施し、多文化共生社会の実現につなげる。②	研修計画（内容）： 1. 講義（内容）：在日日系社会、日本の多文化共生政策、当団体の活動、外国につながる子どもの教育、日本の教育システム、外国人市民への相談対応、日本語講座の聴講等 2. 実習：フリースクール、小中学校放課後教室、大人向けの日本語教室、キャリアアップ支援教室、多文化教育プログラム、日系人子弟対象のポルトガル語教室等 3. 見学：公立の小中学校、高校、専門学校、国際交流ラウンジ、区役所・市役所、教育委員会、日系人が経営する企業、領事館、大使館等 4. 活動報告：研修で習得した事項について報告会を実施③	
2	横浜	長期	新規NL2	教育	日本の学校における児童・生徒支援	Support for Students in School Activities in Japan	1	上	2023/5/7	2024/3/6	愛川町教育委員会	Aikawamachi Kyouiku-iinkai	http://www.aikawa-edu.jp/sch/nakatsu-es/access6021.html	前盛 朋樹	MAEMORI Tomoki (Mr.)	shido@town.aikawa.kanagawa.jp	小学校・中学校の教員免許や日本語指導の資格または経験を有する女性。教育機関での指導経験があるとなお良い。日本語能力はN2以上、N1だとなお良い。スペイン語かポルトガル語が母語である方、または両言語が使えらるとなお良い。②	大学卒業程度	5	不問	N2	スペイン語(母語)	日本の教育システムの現状や多文化共生の状況を把握することで、より深い理解へと繋げるとともに、日本語指導や教科指導等の支援を通して、学校現場における外国籍等、外国につながる方のある児童生徒への支援の方法を習得し、帰国後の実践のための資力向上を図る。③	・外国籍等、外国につながる方のある児童生徒への日本語指導や教科指導等の支援方法の習得 ・日本の小・中学校等で実践される多文化共生の理解 ・多様な児童生徒を含む学級経営や教科学習、集団適応等に備える個別的な支援ニーズへの対応の理解と方法の習得④	講義（事前の説明・振り返りを含む）：日本語指導担当者会議（研修）への出席、日本の学校文化や制度、小中学校等の教育課程、学校における外国につながる方のある児童生徒の状況、多文化共生・日本語指導等の現状、学習指導・適応支援方法 ②日本における世代間の意識の差や文化継承について ③地域における伝統文化とその継承について ④初歩的な日本語教授法について 2. 0U1：行政（市役所）、教育委員会（学校）との協働、日本語教室への参加 3. 交流：地域社会・学校 4. 研修実施：当該スタッフに対する研修。 5. 発表：学びと帰国後の行動計画の発表	
3	筑波	長期	新規NL3	その他	日系人を含む在日外国人生徒に対する日本文化の理解促進	Promotion of Understanding of Japanese Culture for Foreign Students including Nikkei	2	上	2023/5/7	2024/3/6	特定非営利活動法人オプション・インターナショナル・スクール	NPO OPTION・INTERNATIONAL・SCHOOL	なし	ルシアン・サカウエ・マユミ (Ms.)	LUCIANE MAYUMI SAKAUE UEMURA (Ms.)	escolaooption@yahoo.com.br	教育分野などで子供と触れ合った経験が必須	大学卒業程度(大学在学中も可)	不問	不問	N5	ポルトガル語(母語)	研修員は、歴史を含めた日本文化を理解する。②研修員は、茨城県・常陸地域に根差した日本文化・伝統文化を体験理解する。③研修員は、初歩的な日本語教授法を学び、生徒の日本語学習の第一歩として日本語理解をさらに深め、地域日本人社会との交流に生かす。④研修員は、自国での応用可能な技術・手法を整理し、帰国後の具体的な行動計画を作成する。	1. 講義： ①日本における祭りなどの地域文化について ②日本における世代間の意識の差や文化継承について ③地域における伝統文化とその継承について ④初歩的な日本語教授法について 2. 0U1：行政（市役所）、教育委員会（学校）との協働、日本語教室への参加 3. 交流：地域社会・学校 4. 研修実施：当該スタッフに対する研修。 5. 発表：学びと帰国後の行動計画の発表	宿舎は、当該職員関係者の住居施設を予定。	
4	東京	長期	継続NL4	教育	外国につながる子どもたちに対する学習支援と日本社会の多文化共生	Learning Support for Children with Foreign Roots and Multicultural	2	上	2023/5/7	2024/2/17	NPO法人多文化フリースクールちば	NPO Multicultural Free School Chiba	tabunka-freeschool-chiba.org	仲江 千鶴	NAKAE, Chizuru	chism833@vbb.ne.jp	将来、研修の成果を日本語教師や多文化共生の分野で活かす予定があること	不問	不問	不問	N3以上	スペイン語・ポルトガル語どちらも可。	①外国につながる子どもたちに対する日本語教育と学習支援の方法を習得する。特にフリースクールを中心とした学習支援のサポートを行うことで、子どもたちの成長に応じたかわり方を学ぶ。 ②日本語教師養成講座を聴講することで、日本語教師に必要な理論を学習する。 ③継承支援やフィールドワークを通じて外国につながる子どもたちの視点で日本の多文化共生の現状と課題を明らかにする。 ④日本の大学生と交流し、調査やグループワークを通して多文化共生についての政策提言を作成する。	①日本語教育の理論と実践を学ぶ。 ②継承支援に関する基礎知識と実践を学ぶ。 ③日本の教育システムや多文化共生の現状について理解し、海外との比較が出来る視座を持つ。 ④日本の学校関係者や行政（教育委員会や国際交流協会）、市民社会や大学とのネットワークを築く。 ⑤帰国後、母国における学習支援において研修成果を還元し、指導力の向上を目指す	視察：千葉県内の国際交流協会や教育委員会、学校、外国人の集住地域、地域の日本語教室 実習：多文化フリースクールちば及び県内公立小中学校学習支援プログラム 調査：日本語教師養成講座聴講（適宜）、千葉大学小川玲子セミナー（社会科学）（適宜） ⑤研修会参加：千葉大学移民難民スタディーズ研究会への参加（在日外国人や教育をテーマとした報告も多い） フィールドワーク：日系人の集住地域である八千代市米本団地や村上団地など 報告会：研修の多文化共生に対する提言（仮）を行政や学校関係者や市民社会に対して行う	
5	東京	長期	継続NL5	教育	青少年活動/海外にルーツを持つ子どもたちへの支援研修	Youth support/Support for children and youth with multicultural background	2	下	2023/10/1	2024/3/22	特定非営利活動法人青少年自立援助センター	NPO Youth Support Center	https://www.kodomo-nihongo.com/index.html	田中宝 紀	IKI TANAKA	ikitataka@kodomo-nihongo.com	子どもの教育または青少年支援活動の実践経験がある方 または、今後母国でこうした活動に取り組みたく意欲のある方	不問	不問	不問	N3以上	スペイン語	<支援活動におけるIT活用> zoom, slack, teamsを活用した当事者へのアウトリーチ、支援機会の提供およびSNSを活用した当事者へのアウトリーチ技術 <海外にルーツを持つ子どもに対する教育支援技術> <海外にルーツを持つ子どもに対する教育支援技術> ①研修員に、公益活動団体による海外ルーツ青少年に対する教育および自立就労支援活動の具体的なノウハウが提供される②研修員に、公益活動団体による海外ルーツ青少年に対する教育および自立就労支援活動の具体的なノウハウが提供される③研修員に、ITを活用した支援活動のノウハウが提供される	1. 子どもの日本語教育プログラムの見学、実習 2. 子どもの教科学習支援プログラムの見学、実習 3. 子どもの高校進学支援プログラムの見学、実習 4. 多文化コーディネーター実習 5. 若者自立就労支援プログラムの見学、実習 6. 在日日系人子ども向け（学習支援領域）プログラムの企画・実施（アウトリーチ、相談、コーディネート実証含む） 7. 在日日系人向け支援（就労支援）プログラムの企画・実施（アウトリーチ、相談、コーディネート実証含む） 8. 上記を通じた、在日日系人子ども、若者、生活者に対する母語対話機会の提供		
6	中部	長期	継続NL6	社会保障	在日日系ブラジル人へのソーシャルワーク	Social Work for Japanese Brazilian Residents	1	上	2023/5/7	2024/2/7	特定非営利活動法人可児市国際交流協会	Kani International Exchange Association	freviakani.jp	各務 眞弓	Kagamu Mayumi (Ms)	pokiea@ma.ctk.ne.jp	特になし。ソーシャルワークとともに教育にも関心がある方が望ましい	不問	1年	不問	日本語能力検定N3	ポルトガル語	・地元行政及び外国人生活相談業務について十分に理解するとともに、多文化ソーシャルワークについて知る。 ・日本在住日系人子弟への日本語教育及び母語教育について知る。 ・日本の教育制度や関連の機関の役割を理解する。 ・日系人子弟の就学及びキャリア教育を知る。 ・研修員が母国において、生活における問題を抱える住民に対して、適切な助言や支援が出来るようになる。 ・地域住民へのブラジル文化紹介などにより相互の文化理解ができる。	1. 日本の制度を知り外国人相談の現状と多文化ソーシャルワーカーとしての基本的スキルが身に付く。 2. 日本語の能力が向上する。 3. 日本の多文化共生の現状を知り、課題への取り組み方、企画力が身に付く。 4. 自身のビジネスパートナーが身に付く。 5. 日本の公教育の現状を知り多言語で育つ子どもへの教育と指導方法を知る。	・可児市及び可児市国際交流協会の取り組みを知り、在住ブラジル人の現状を知る。 ・在日ブラジル人の生活相談窓口研修及び行政窓口研修を行う。 ・在日ブラジル人子弟の日本語教育支援や学習支援についての研修を行う。 ・在日ブラジル人子弟の母語指導教室での研修を行う。 ・日本語初期指導教室や市内小中学校、県立特別支援学校の見学を行う。 ・多文化共生フェスティバル（10月末予定）の運営支援を行う。 ・ブラジル文化の紹介などプレゼンテーションの研修を行う。（小中学校等の文化紹介）	2020（遠隔研修）、2021（遠隔研修）、2022（対面研修）年度研修受託機関である。同組織は日系サポーター研修事業以外の各種セミナー（中南海部部、中部センター市民参加協議会）に協力。

7	関西	長期	継続NL7	教育	在日日系人コミュニティの活動支援	Support the Nikkeijin community in Japan by using communication media in Spanish	2	上	2023/5/7	2024/3/6	特定非営利活動法人多言語センター FACIL	Multilingual Center FACIL	https://tcc117.jp/facil/	山口まどか	Yamaguchi Madoka (Ms.)	facil@tcc117.jp	基本的なパソコンスキル (Word, Excel操作, SNS管理)	不問	1年以上	不問	N5	スペイン語(母語)	研修員が在日日系人の現状を理解し、自らが外国人として生活することで見える「防災」「情報共有」「教育」などの具体的な課題に基づき、その解決に向けて企画および行動する能力を育む。	1. 講義 ① 在日日系人コミュニティの防災活動 ② ラジオ、冊子、SNSによる情報発信 ③ 在日日系人の子どもの継承語、継承文化教育、学習支援、通訳指導等の教育サポート ④ 在日日系人の生活相談(行政手続き、子育て、医療、仕事など) ⑤ 情報の多言語化、コミュニティ翻訳通訳、医療通訳 ⑥ 市民団体運営管理全般 2. 実習・調査 ①②③④⑤⑥のすべてにつき、講義後に実習を予定。特に定期的な実習としては、防災教育ならびに訓練、インターネットラジオ番組制作(月刊)、Facebookページの運営(毎月)、外国にルーツを持つ子どもの教育(母語教室月2回)など、実務を通じた現状認識および関係者との議論の中から、自ら課題を見つけ、調査およびヒアリングを促進し、解決策の提案までを研修実施団体のスタッフがサポートする。 3. 見学・会議・イベント 研修員の参加するプロジェクトに応じて見学およびイベントを随時計画。関連団体や、兵庫県や神戸市等行政の実施する会議へ参加。地域の国際理解教育への協力。 4. 面談 定期的に面談を実施(月1回および必要に応じて) 5. 発表 たかとりコミュニティセンター関連団体に	・在日日系人コミュニティの防災活動への支援 ・在日日系人の生活情報、生活相談、生活課題解決への支援 ・在日日系人児童生徒の教育全般への支援	
8	関西	長期	新規NL8	教育	①日系ブラジル人児童・生徒へのポルトガル語教育 ②日系ブラジル人への生活相談対応	①Education of Portuguese for Japanese-Brasilian student ②Daily life consultation for Japanese-Brasilian resident	1	上	2023/5/7	2024/3/6	特定非営利活動法人関西ブラジル人コミュニティ CBK	NPOcorporation Brasilian Community in Kobe	http://kobe-cbk_server-shared.com	松原マリナ	Matubara Marina	cbk_bras_01@toara.ocn.jp	社会人としての経験が豊かなこと	大卒(相当)	最終学歴修了後5年以上	不問	日本語能力検定試験2級以上	ポルトガル語(母語)	①教育問題(母語・母文化の継承):土曜日は母語教室の講師として、ブラジル人子弟に最新のブラジルでの指導法にて授業に当たる。週日は教材の準備をする。また現状の講師と共により良い指導法を研究する。帰国後にブラジルからリモートで授業が行えるように、日本の現状を学ぶ。 ②日系ブラジル人への生活相談対応:電話または来室する相談者にポルトガル語で対応する。個人の悩みを聞くことと共に、日本の公的社会保障制度や在住各国コミュニティ/団体の支援状況等を、現在日系人社会では高齢日系移民対象の施設が存在するが、国内にはまだ無い。	①②の推進には、日本とブラジルの人的な交流を深めて活動を活性化し、より良い双方の日系人社会を作る必要がある。ブラジルへの日本移住の歴史は11年を遡る。現地では日系人に対する評価は高い。ブラジルから日本への日系人の大規模な移動は32年になる。第一世代から次の世代に移りつつあるが、国内での日系人の立場はどのようなものだろうか。危険にさらされない問題が散見される。研修生が当法人で学ぶことにより、日系人の現状を把握し課題の解決にブラジルで活動できることが期待できる。また国内の日系ブラジル人が自信を持つて暮らすことが出来るように、特に若者のアイデンティティの確立をサポートする力を(主に幼児教育における)日本語コミュニケーション能力を取得する。 2. 日本の幼稚園でのクラス補助業務を理解し、その手法を習得する。 3. 日本の幼稚園での園外活動を理解し、その手法を習得する。 4. 登園時の保護者と職員とのコミュニケーションの重要性を理解し、実践できるようにする。	①土曜日はCBKが主催する「児童生徒対象の母語教室・母語による学習支援教室」でポルトガル語講師を務める。週日は教材の準備等、教室の運営にかかわる業務を行う。また事務所内で一般事務を行いNPOの運営を体験する。 ②日系ブラジル人の生活相談対応:電話または来室による相談には、CBKスタッフと共に対応して現状の把握、解決方法などを学び共有する。国内の日系ブラジル人の状況を把握するために、CBKスタッフと共に各地の支援団体を訪問する。	①当法人の運営スタッフ5名のうち3名がブラジル生まれの2世で、2名はブラジルへの移住経験者であり全員が日本語とポルトガル語で業務ができる。また周囲の生活習慣や文化なども十分理解している。このために研修生は英語が苦手な方でも安心して業務を行うことが出来る。②活動の拠点である神戸市立海外移住と文化の交流センターは、現存する唯一の移住施設である。ブラジルへ移住した25万人の人の内の1人、19万人がこの建物から移住した。ここで研修を行うということは、200万人ともいわれるブラジル日系人社会と日本との交流促進の発信に大きく寄与する。
9	中国	長期	継続NL9	教育	幼児保育・教育	Child Care and Education	1	下	2023/10/1	2024/1/31	島根県出雲市	Izumo City, Shimane Prefecture	https://www.city.izumo.shimane.jp/www/toppage/00/0000000000/APM03000.html	岡田大介	Okada Daisuke (Mr.)	siku@city.izumo.shimane.jp	・幼児教育や保育については関心があること。 ・子どもとのふれあいが好きで、終日子どもと楽しく過ごせる人。	高卒程度	3年	不問	N4程度以上	ポルトガル語	日本における幼児教育を理解し、ブラジルとの違いを知り、日本の幼児教育をブラジルで実践できるようにする。また、将来的には日本の日本とブラジルの懸け橋になることを目指す。	・講義:日本の幼稚園でのクラス補助業務、園外活動の計画立案、保護者とのコミュニケーション等。 ・実習:幼稚園等でのクラス補助、園内外での活動への参加、登園時の保護者と職員とのコミュニケーション支援。		
10	横浜	短期	新規NS1	教育	多文化共生の地域づくり	Intercultural Community Building 『tabunka kyosei』	1	上	2023/7/23	2023/8/31	横浜市国際交流協会	Yokohama Association for International Communications and Exchanges	https://www.yokweb.com	沼尾実	NUMAO Minoru (Mr.)	mi.numao@yoke.or.jp	1 沖縄につながる日系人(言語:スペイン語、ポルトガル語どちらでも可) 2 コミュニケーション能力が豊かな人 3 多文化共生に共感できる人 4 子どもが好きな人	不問	不問	N2 ※N2程度が望ましいが会話力を重視	スペイン語、ポルトガル語どちらでも可	1 鶴見区の日系人集住地・湘田地区の日系人コミュニティ形成と現状を調査・把握する 2 だれもが安心して豊かに生活できることをめざす鶴見国際交流ラウンジ事業を理解し、体験・実習(相談・情報提供業務)を行う 3 多文化共生の地域づくりには不可欠なのは何かを理解する	1 外国人人口が多い地域での外国人支援と外国人が活躍できる場づくり 2 多文化共生に共感する共生型の地域人材育成支援 3 研修成果を生かし、母国における多文化共生の地域づくりの第一歩			
11	北陸	短期	継続NS2	ガバナンス	多文化共生推進支援	Support for promoting multicultural coexistence	1	上	5月7日	7月7日	小松市国際交流協会	Komatsu International Association	https://39kia.iimdo.com/	本田昌代	HONDA Masayo (Ms)	kia@tvk.ne.jp	パソコンスキル (PPT等) 日本語程度の英語力があれば尚可	不問	不問	不問	N2	ポルトガル語(母語)	日本の行政サービスや外国人支援策及び多文化共生の現状を理解し、受け入れ態(日本の)の在日外国人への最適な支援を考えたときに、外国人が来日前にしておくことにより、外国人が来日した際にスムーズに生活できるように準備や知っておくことにより情報をおこなうことを提案する。また、地域住民との多文化理解事業を実施することにより、多文化共生社会の推進に寄与する。	講義:市内・市内外外国人及び外国籍児童受入、日本の教育システム、外国人支援策など 実習:外国人支援策実践、外国人支援団体、日本語教室、外国籍児童・生徒に対する学習支援など 実習:市役所・外国人支援団体でのサポート、地域住民に対する多文化理解事業など 関係者との意見交換について報告し、発表:研修成果の発表	同研修へ参加希望する研修員で、参加時期や実施期間などの変更(短縮)については、やむを得ない場合には事前にご相談しご連絡し、ご相談することが可能である。ただし、基本的にこの団体の提案する日程をすべて参加できることが望ましい。 2. 研修年数や学歴は不問であるが、成果②の通訳経験や学歴に情報提供することを期待しているため、応募時には、自身の参加の目的や帰国後のプランについて、同団体担当者に相談し、ミスマッチが起きないようにすること。	
12	中部	短期	継続NS3	教育	ラテンアメリカからの子どもたちのための日本語指導者養成研修	Japanese Language Teacher Training for Children from Latin America	1	上	2023/5/7	2023/8/10	学校法人 ムンド・デアレグリア学校	C.E.P Mundo de Alegria	http://www.mundodealegria.org/	岡 則子	Oka Noriko (Ms.)	okamundodealegria@gmail.com	教員免許を有すること。	大卒(相当)	不問	不問	日本語能力検定試験N5	ポルトガル語	1. 研修員が南米の子どものために有効な「母語での漢字指導法」、「日本語の指導法」を習得する。 2. 研修員がそれぞれの国に合った「ひらがな表」「カタカナ表」を生徒と協働作業により作成する。 3. 自身のレベルにあったムンド校の日本語授業を受け、生徒の目線で日本語教育を考えると同時に、自身の日本語能力も向上させる。 4. 習得した指導法を在日外国人コミュニティに実践し、その有効性を実感するとともに、在日コミュニティの漢字学習へのモチベーションを向上させる。 5. 研修員が在日日系人の子どものための日本語指導の仕方を理解し、実践する。	1. 年少者を対象とした「ひらがな」「カタカナ」の指導法を体感しながら習得し、実践する。 2. 指導学級の子どものための「漢字指導法」を体感しながら習得し、実践する。 3. 研修者の母国語での「ひらがな表」を作成する。 4. 年少者に有効な「日本語指導法」を体感しながら実践し、実践する。 5. 研修中、日本語の授業を受け、自身のレベルに合った日本語能力試験を受験することで、子どもたちの日本語学習について身を持って経験するとともに、自身の日本語能力向上も図る。	1. 生徒として編入体験ー編入生として生徒と同じ体験をする。 2. 日本語授業受講 3. 日本語授業アシスタント 4. 座学(指導法講義) 5. 日本語指導法習得 6. ひらがな表作成 7. ひらがな表指導法実習 8. 日本語指導法OJT及び実習 9. 研修成果発表	2022年度にも同研修を実施している。研修期間が変更になり6月〜3か月、また、言語はスペイン語も対象だったが今回はポルトガル語で指定。
13	中部	短期	継続NS4	その他	南米系学校「ムンド・デアレグリア学校」で学ぶメディアーター研修	How to become a mediator: Active learning at Latin American school "Mundo de Alegria"	1	上	2023/5/7	2023/8/10	学校法人 ムンド・デアレグリア学校	C.E.P Mundo de Alegria	http://www.mundodealegria.org/	岡 則子	Oka Noriko (Ms.)	okamundodealegria@gmail.com	教員免許を有すること。	大卒(相当)	不問	不問	日本語能力検定試験N6	ポルトガル語	1. 日本の在日日系人の課題・問題を把握する。 2. 子どもたちの置かれている現状・教育問題を理解する。 3. 在日外国人コミュニティの多文化共生のために何が必要であるかを自ら考え、課題解決策を提案する。 4. 研修での成果を日系人コミュニティで発表する。 5. 研修員が帰国後も母国にある日系企業・日系社会において潤滑になる。	・相手の文化、思考を理解し、共生に向けて獲得した知識・知見等を同国人に母語で伝えて理解してもらうことに尽力できる人材を育成することができる。 ・南米には多くの日系企業が多く進出している。この研修での学びが南米駐在の日系企業で働く同国人のための潤滑油となれる。 ・日本と南米を繋ぎ、お互いの理解を進めて友好な関係を構築できる「草の根外交」に貢献する。	1. 生徒として編入体験 2. 講義 3. コーディネーターの仕事観察 4. 教員のアシスタント 5. 授業実習 6. 児童生徒ヒアリング 7. 日系系継承教育研究員及び研修員との意見交換 8. 振り返り、報告書作成 9. ミッション実施 10. 発表	2022年度にも同研修を実施している。
14	中部	短期	継続NS5	教育	日本語初期指導	Initial Japanese Language Instruction	1	上	2023/6/18	2023/7/28	認定特定非営利活動法人プラス・エデュケート	Plus・Educate	https://www.plus-educate.org/	中西智子	Nakanishi, Tomoko (Ms.)	plus_educate@yahoo.com	必要資格:小・中学校の教員免許を有する又は子供向け国際理解について興味がある。	大学卒業程度	3年以上	記載無し	N2	ポルトガル語	1. 日本の教育システムや多文化共生の現状について理解し、母国との違いについて理解する。 2. 日本の学校現場における日本語支援の内容や方法、学校関係者との連携や保護者への対応の「ノウハウ」を学ぶ。 3. 母国での日本語支援にて研修成果を生かし、指導力向上を目指す。	1. 日本語の初期指導者としての役割を担うこと。 2. 日本語の初期指導者としての役割を担うこと。 3. 日本語の初期指導者としての役割を担うこと。	2022年度の研修に提案書を出し採択されたが、2回の研修員募集を実施したが応募者がおらず、案件不成立となった。	
15	中部	短期	新規NS6	保健医療	日本における介護技術	Long-term Care Techniques in Japan	2	上	2023/5/7	2023/9/1	COOPERA協同組合	COOPERA Cooperative Association	無し	カセダ アバロス セルロス	Casada Avalos Jose Carlos	zsaint62@hotmail.com	介護分野に従事している。もしくは介護分野に興味がある。	高校卒業程度	不問	記載なし	N5	スペイン語/ポルトガル語	・日本の介護技術を学び、要介護者の自立支援やADL向上などを目指す。 ・認知症高齢者を理解しながら行うコミュニケーション方法を理解する。 ・高齢者と多文化共生を活用しながら、お互いに励みあう。	①高齢者とのコミュニケーション技術 ②発達や老化の理解 ③ユニバーサルデザイン(認知症への対応)	講習:専職の保持、要介護者の自立、医療機関との連携、コミュニケーション技術、認知症、心と身体の仕組み等 実技:介護施設内での実技を通じて理解を深める 試験:研修成果を明らかにするための最終試験実施	2023年度の提案募集が初参加。ペルー事務所及び中部センターにて個別に制度説明を実施。日系ペルー人が代表を務める組織であり主な講師は日系ペルー人が担当する。

16	中国	短期	継続	NS7	防災	日本における防災と災害支援について	Disaster Preparedness and Response in Japan	1	上	2023/7/23	2023/9/7	特定非営利活動法人 アムダ	AMDA	https://amda.or.jp/	ブルックス 雅美	Brooks Masami (Ms.)	brooks@amda.or.jp	自国にて災害支援・防災に関わる方	不問	不問	不問	N4程度以上	スペイン語/ポルトガル語	①日本（世界基準・行政レベル（国及び自治体）、民間レベル（企業・NGO））の防災及び災害支援について学ぶ。 ②日本で学んだノウハウを元に、自国で実現可能な防災計画・災害支援計画を考える。	日本で作成した「自国での防災計画・災害支援計画」を基に、帰国後、実現に向けて準備を進める。 -防災に関する活動の実施 -備品準備 -防災・災害支援に向けたネットワーク作りなど	④. 不問 ⑤. 不問 ⑥. 不問 ⑦. 不問 ⑧. 不問 ⑨. 不問 ⑩. 不問 ⑪. 不問 ⑫. 不問 ⑬. 不問 ⑭. 不問 ⑮. 不問 ⑯. 不問 ⑰. 不問 ⑱. 不問 ⑲. 不問 ⑳. 不問 ㉑. 不問 ㉒. 不問 ㉓. 不問 ㉔. 不問 ㉕. 不問 ㉖. 不問 ㉗. 不問 ㉘. 不問 ㉙. 不問 ㉚. 不問 ㉛. 不問 ㉜. 不問 ㉝. 不問 ㉞. 不問 ㉟. 不問 ㊱. 不問 ㊲. 不問 ㊳. 不問 ㊴. 不問 ㊵. 不問 ㊶. 不問 ㊷. 不問 ㊸. 不問 ㊹. 不問 ㊺. 不問 ㊻. 不問 ㊼. 不問 ㊽. 不問 ㊾. 不問 ㊿. 不問 1. 講義：日本の防災・災害対応、AMDAの災害対応等 2. 訪問・見学：国連・政府関係、行政（国・自治体等）、民間（企業・団体・NGO等）
----	----	----	----	-----	----	-------------------	---	---	---	-----------	----------	---------------	------	---	----------	---------------------	-------------------	------------------	----	----	----	--------	--------------	--	--	--